

## 未来を見据えて～職場体験学習～

広州日本人学校では、今年度も中学部3年生が職場体験学習を実施しました。今年度も「广州日航酒店」「广汽本田汽车有限公司」「みずほ銀行広州支店」の三社に受け入れていただき、充実した二日間を過ごさせていただきました。体験先での生徒の表情は、学校とは違う少し大人びた表情をしていました。二日間を終えて学校に戻ってきた生徒たちには、これまでに増して生き生きとした表情が見られ、自ら「本当に良い学びになった」と口を揃えて述べていました。このような良い経験ができたのは、各事業所の担当者の皆様をはじめ、多くの方々のサポートがあったためであると再認識致しました。

この生徒たちの学びは、これからの人生において大きな礎になることと思います。今後、さまざまな学びや思いを整理し、9月に予定されている「職場体験学習報告会」で発表していきたいと思ひます。

～生徒感想～

○ 「仕事というのは、一人ではできない。みんなで支え合ってやっと完成するもの。だから、自分個人でも、『つながっている』という意識を常に持ち、責任感を感じながら行動していこうと思ひました。もし誰かが欠けたら、そこを全力で補う。どんなときでも、どんなことでも『自分だったら』という考えを持つことが大切であると学ぶことができました」。

○ 「見えない所、車の細かい部品の一つ一つや製造など、日々お客様が求めているニーズよりさらに高いレベルを求めなければならない。社会人としては当たり前のこのことの大変さについて学ぶことができました。それ以外にも、会社ではチームで仕事をしているので、ミスをしたら会社全体の責任になってしまうため、一つ一つの行動に対する責任感を強く感じることができました」。

○ 「『仕事とは、共同体で行うものである』ということは、職場での人間関係は一個人の能力、云々より大変重要なものであると感じました。挨拶や人間関係について、高校を見据え、自分の態度を改善し、より質の高い社会人の1人になるために自分を高めていきたい」。

